

事務事業名	桜井ポケットパーク整備事業(単独)		所属部局	建設部		単位番号	7126										
			所属課室	都市計画課		課長名	新津 元博										
	☐ 実施計画事業		所属担当	都市整備担当		担当者名	中島 司										
基本政策	基本計画体系	Ⅲ	うるおいと利便性のある都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目						
政策		13	都市空間の整備	事業区分	01	一般	0	8	0	4	0	3	0	5	0	0	7
施策		21	安らぎ空間の整備		☐ 国の制度による義務的事業												
					☐ 県の制度による義務的事業												
					☐ 市の制度による義務的事業												
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 年度) 期間限定複数年度 (18 ~ 22 年度)			法令根拠	都市計画法												
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載				事業費の主な内訳 (22年度)												
	1 事業の内容				項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円)												
	本公園は、都市のオープンスペースを効果的かつ効率的に保全し、増やしていくことを目的に設置するものである。				工事諸費 492												
	2 事業の内訳																
	公園整備事業A=333㎡利便施設、植栽、舗装工				計 492												

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	
22年度活動実績	甲西バイパス沿いのオープンスペースをポケットパークとして整備を行った。
23年度活動予定	
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
市民 公園利用者	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていきたいのか、どのように変えるのか)	
市民が快適に安らぐことのできる公園の整備を行う。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
住民の身近な公園・緑地として整備し、安心して快適に安らぐことのできるようにする。	

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア ポケットパークの箇所数	箇所
イ	
ウ	
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 一日の利用人口	人
イ	
ウ	
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 都市公園以外の身近な一人当たりの公園の整備面積	㎡
イ	
ウ	
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 公園や子どもの遊び場に関する住民の満足度	%
イ	

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円	460						
			その他	千円							
			一般財源	千円	32						
			事業費計 (A)	千円	0	492	0	0	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人		1						
		延べ業務時間	時間		10						
		人件費計 (B)	千円	0	45	0	0	0	0		
		(A)+(B)	千円	0	537	0	0	0	0		
活動指標		箇所		1.0							
		アイ ウ									
対象指標		人		100.0							
		アイ ウ									
成果指標		㎡		2.8							
		アイ ウ									
上位成果指標		%		33.0							
		アイ									

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成10年頃、甲西バイパス及び市道横町桜井線道路改良事業でできたオープンスペースを今回ポケットパークとして整備を行う。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	近年、健康に注目が集まっているため、ジョギング、ウォーキングをする人が増えてきました。バイパス沿い及び市道沿いの歩道を多くの住民が歩いています。これらの休憩場所です。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	バイパス沿いの景観を損ねているので、早く整備していただきたい。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	☐ 取り組みしている ⇒【内容!】 ☒ 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	早急の整備が望まれる。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	

事務事業名	桜井ポケットパーク整備事業(単独)	所属部	建設部	所属課	都市計画課
-------	-------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 都市のオープンスペースを効果的かつ効率的に保全し、市民の身近な公園・緑地の整備を進め、市民が快適に安らぐことができる環境を創出する。		
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 市民の生活環境の向上を目的とする基盤整備である。		
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 市民の生活環境の向上を目的とする基盤整備であるため、対象、意図を見直す必要はない。		
有効性 評価	④成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 地域住民に親しまれる公園にするために、アダプトプログラム等の導入を考えて方がよい。		
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 個別に設置する基盤整備であるため。 ☒ 類似事務事業がない		
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 市の政策体系の施策にのっているため。	☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 市の政策体系の施策にのっているため。	
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 整備を行うに当たり、贅沢品は使用せず、標準的なものを使用する。		
	⑧人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 技術職がいなければ、監督が出来ない。		
公平性 評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 市の施策の法った公園であるため公平・構成である。		

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	現場がある程度、造成済であることから、現地の測量及び設計を直営で行いコストの削減を図った。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table>				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☐	☒																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について		※ 廃止・休止の場合は記入不要																						
①標準製品を使用し、コスト削減を図った。																								
②																								
③																								
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策		(5) 事務事業優先度評価結果																						
①維持管理については、地域住民に理解していただき地元で管理していただく。		成果優先度評価結果	終了事業																					
②																								
③		コスト削減優先度評価結果	終了事業																					